

平成17年度東北海区海況予報 第4号

平成17年12月12日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2005年12~2006年2月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(35°40'N~36°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で北寄りに推移する。
- (3)釧路南東沖、金華山沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並~やや北偏(40°N以北)で推移し、三陸~常磐近海に冷水域が残る。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°30'N~40°N)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(142°30'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2005年9月~2005年11月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、10月以降 かなり南偏~やや南偏(35°20'N~36°N)で推移した。
- (2)9月まで釧路南東沖に停滞していた暖水塊は、11月以降不明となった。10月には、八戸沖と金華山沖に暖水塊が認められ、いずれも11月まで停滞した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、やや南偏~平年並(39°50'N~41°40'N)であった。また、冷水域が三陸~常磐近海に分布した。
- (4)親潮第2分枝の南限は、平年並~著しく北偏(39°30'N~41°30'N)で推移した。10月~11月には、第2分枝に連なる冷水が分布した。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢~かなり強勢(143°20'N)であった。
- (6)東北海区の表面水温は、平年より高めで推移した。

(現況(2005年11月下旬~12月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(36°N以北)である。
- (2)暖水塊が、釧路の南東沖合約190km、金華山沖約250kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(41°40'N)である。また、冷水域が三陸~常磐近海に分布する。
- (4)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(40°50'N*)である。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143°E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による。